

広島県告示第666号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第5条第1項の規定による特定施設の設置許可の申請があったので、同条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

平成24年8月2日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	京都府乙訓郡大山崎町字大山崎小字鏡田3-100 株式会社ピクルスコーポレーション関西 代表取締役 荻野 芳朗
工場又は事業場の所在地及び名称	府中市高木町64-2 株式会社ピクルスコーポレーション関西 広島工場

2 申請の内容

4 ロ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する洗浄施設7基を設置する。また、排水処理施設1基を設置し、排水口を2か所設置する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

(その1) 新設

種	類	4 ロ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する洗浄施設 2基 (洗浄機①, 洗浄機②)	4 ロ 野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する洗浄施設 (洗浄機③)
能	力	処理能力 1,000kg/時	処理能力 500kg/時
工	工事着手予定年月日	許可後直ちに	許可後直ちに

期等	工事完成予定年月日		着工180日後		着工180日後		
	使用開始予定年月日		完成後直ちに		完成後直ちに		
使用の方法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8時間連続 (季節的変動なし)		8時間連続 (季節的変動なし)		
	項目		通常	最大	通常	最大	
	排出される汚水等	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		5~7	5~7	5~7	5~7
		(単位: mg/L)	生物化学的酸素要求量	300	500	300	500
			化学的酸素要求量	300	500	300	500
			浮遊物質	100	150	100	150
			窒素含有量	30	40	30	40
	リン含有量	4	5	4	5		
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )		12.0	19.2	3.6	9.6		
汚水等の排出先		排水処理施設		排水処理施設			

(その2) 新設

種	類	4口野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する洗浄施設 2基 (洗浄機④, 洗浄機⑤)	4口野菜又は果実を原料とする保存食料品製造業の用に供する洗浄施設 (洗浄機⑥)			
能	力	処理能力 500kg/時	処理能力 120kg/時			
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに	許可後直ちに			
	工事完成予定年月日	着工180日後	着工180日後			
	使用開始予定年月日	完成後直ちに	完成後直ちに			
使用	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8時間連続 (季節的変動なし)	8時間連続 (季節的変動なし)		
	項目		通常	最大	通常	最大
	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)		5~7	5~7	5~7	5~7

の 方 法	排出される汚水状態	生物化学的酸素要求量	(単位： mg/L)	300	500	300	500
		化学的酸素要求量		300	500	300	500
		浮遊物質質量		100	150	100	150
		窒素含有量		30	40	30	40
		リン含有量		4	5	4	5
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )		7.2	19.2	10.8	25.2	
汚水等の排出先			排水処理施設		排水処理施設		

(その3) 新設

種 類		4口野菜又は果実を原料とする保存食料品 製造業の用に供する洗浄施設(洗浄機⑦)		
能 力		処理能力 100kg/時		
工 期 等	工事着手予定年月日	許可後直ちに		
	工事完成予定年月日	着工180日後		
	使用開始予定年月日	完成後直ちに		
使 用 の 方 法	使用時間間隔及び1日当たりの使用時間 (使用の季節的変動)		8時間間欠(季節的変動なし)	
	項 目		通 常	最 大
の 方 法	排出される汚水状態	水素イオン濃度(単位：水素指数)	5～7	5～7
		生物化学的酸素要求量	300	500
		化学的酸素要求量	300	500
		浮遊物質質量	100	150
		窒素含有量	30	40
	リン含有量	4	5	
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )		4.8	9.6	

汚水等の排出先	排水処理施設
---------	--------

(2) 汚水等の処理の方法

種	類	排水処理施設				
形	式	嫌気+好気処理活性汚泥				
主要寸法	(単位：m)	縦21×横8.3×高さ6				
能力	(汚水処理)	150m <sup>3</sup> /日				
汚水等の処理方法		活性汚泥法				
工期等	工事着手予定年月日	許可後直ちに				
	工事完成予定年月日	着工180日後				
	使用開始予定年月日	完成後直ちに				
使用の方法	項 目		処 理 前		処 理 後	
			通 常	最 大	通 常	最 大
	汚水等の汚染状態状態	水素イオン濃度 (単位：水素指数)	4～8	4～8	5.8～8.6	5.8～8.6
		生物化学的酸素要求量	1,000	1,500	25	30
		化学的酸素要求量	371	581	25	30
		浮遊物質質量	200	300	25	30
		窒素含有量	28	38	20	25
		リン含有量	5	6	4.0	5.5
		大腸菌群数 (単位：個/cm <sup>3</sup> )	1,000	2,000	1,000	2,000
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m <sup>3</sup> )		88	147	88	147	
汚水等の排出先		No. 1排水口				

(3) 排水水の汚染状態及び量

(その1) 新設

排水口名	項目	通常	最大
No. 1 排水口	水素イオン濃度 (単位: 水素指数)	5.8~8.6	5.8~8.6
	生物化学的酸素要求量	25	30
	化学的酸素要求量	25	30
	浮遊物質質量	25	30
	窒素含有量	20	25
	燐含有量	4.0	5.5
	大腸菌群数 (単位: 個/cm <sup>3</sup> )	2,000	3,000
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m <sup>3</sup> )	90	150

(その2) No. 2排水口 (雨水専用) の設置

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

平成24年8月2日から平成24年8月23日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び東部厚生環境事務所福山支所衛生環境課並びに府中市まちづくり部整美保全課